



平成30年4月26日

各位

会社名 東邦化学工業株式会社
代表者 代表取締役社長 中崎 龍雄
(コード：4409、東証第2部)
問合せ先 常務取締役経理本部長 井上 豊
(TEL. 03-5550-3735)

特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成30年3月期決算において、当社連結子会社である東邦化学（上海）有限公司に係る特別損失を計上することになりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

(1) 減損損失（連結決算）

当社の連結子会社である東邦化学（上海）有限公司の2017年度業績は、売上高は、大幅な増収となりましたが、当初計画には僅かに届きませんでした。

それに対して、利益面は、昨年夏以降の基礎石化原料の国際市況の上昇に中国国内の特殊事情も加わり、主要原料価格が急高騰した結果、同社の利益率が悪化、当初計画で目指した通期での営業損益の大幅な改善、ならびに下半期の黒字化を達成できませんでした。

その結果、同社が所有する固定資産について減損の兆候が認められるに至りました。そのため、当該固定資産に係る回収可能性を検討した結果、遺憾ながら平成30年3月期決算において減損損失6億93百万円を計上する予定であります。

同社黒字化につきましては、2018年度も最重要課題として、当社グループの総力を挙げて支援し、これの実現に取り組んでまいります。

(2) 関係会社出資金評価損（個別決算）

当社の連結子会社である東邦化学（上海）有限公司は、上記(1)の事情のとおり多額の減損損失を計上することとなり、その結果、同社の2017年12月末の純資産が当社の出資金の帳簿価格と比較して著しく低下している状況となりましたので、平成30年3月期決算において関係会社出資金評価損12億68百万円を計上する予定であります。

なお、当該評価損は、個別財務諸表のみで計上され、連結決算においては相殺消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

(3) 今後の見通し

平成30年3月期の業績予想につきましては、別途、本日（平成30年4月26日）付で「業績予想の修正に関するお知らせ」において公表しておりますので、ご参照ください。

以上